



一人一句

令和二年七月一四日
 兼題・当季雑詠・「読込み」辛抱・我慢
 第三〇八回・一人一句

辛抱の団地この夏遠会釈とおえしやく

敏子

募る雨門出我慢の巢立ち鳥

訓

糖尿やアイスクリーム我慢する

義明

暴れ梅雨諫める神の見当らずいさ

昭子

望郷に泣くや俊寛雲の峰しゅんかん

武

大鷹や歓喜に震ふ梅雨の森

恵子

「あら奥様と」戯れてざ

呼ぶ娘と夏バーゲン

寿子

風鈴の明に揺れたる端居かな

里美

尽未来じんみらいまるまり辛抱だんご虫

六斗